



情報電子工学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	情報処理学会 第79回全国大会
演題名	制御構造における変数の値変化と役割の理解を目的とした独自の図表現によるプログラミング学習支援の研究
発表者	飯田和佐[1], 大沢 卓[1], 新井聖也[1], 水谷晃三[1], 荒井正之[1] [1]帝京大学理工学部ヒューマン情報システム学科
内容	<p>プログラミング初学者を対象にして、プログラムの制御構造の理解促進を目的とした研究が行われている。この目的においては、簡単な構造であれば理解しやすくなるが、二重ループの中にif文があるなどの複雑な構造の場合、それを可視化したとしても、かえって解りにくくなってしまいう問題が生じやすい。そこで本研究では独自の図による新しい表現方法を検討している。本方法では、制御構文によって影響を受ける変数の関係や変数の値の変化が理解しやすくなる効果が期待できる。本論文では検討中の表現方法とProcessingの静的スケッチを対象とした支援ツールの試作について述べる。</p> <p>【学生奨励賞受賞】（※2018年3月の全国大会で大会優秀賞の授与予定）</p> <p>http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/79/index.html</p>
関連画像	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">飯田さんの発表と学生奨励賞受賞の様子</p>